



原田 健志

## 一、防災のまちづくり 二、農業施策の実行

### 防災のまちづくり

**問** 台風に伴う災害対応。

**答** 台風に伴う災害対応については、秋雨前線の影響により進路予測から想定以上の雨量となり初動のおくれ、職員配備等の様々な課題が確認された。能勢町災害対策本部においては、課題解決に向けた総括会議を持ち既に改善策等の取りまとめを一定終えた。

**問** 防災訓練等を教訓とする災害対応。

**答** 3市2町合同防災訓練では、突然発生する地震災害を想定し実施した。地震災害は、あらかじめ警戒態勢をひく事も可能な風水害対策以上に困難が予想されることから日ごろの訓練が重要になる。今後も合同防災訓練においては、新たな課題の発見や関係機関との連携など、より有意義な訓練となるよう努める。

**問** 今後の取り組みについて。

**答** 継続した訓練や総括こそが、町住民はもとより、観光シーズンの行楽客への安全安心の取り組みにつながる認識する。

### 農業施策の実行

**問** 国ではTPP交渉などをにらみ、農業分野の発展的強化に向け施策を進めている。町はどのように施策を進めていくか。

**答** 規模拡大について、地域における農業法人の取り組みなど強力な支援を図っていくべきでは。

**問** 農業法人等をつくりたいという方々に対してある一定クリアしていただきたい部分を担当課からも示させていた。その中で、単純に平等ではなく、やる気の評価をもつて公平という立場により近いような内容で農業施策に対応していけるのではと考えている。

**答** 完成には、新年度から3年ほどはかかるのではないかと思うが、そういう動きをつくっていきたく考えている。

**問** 農産物ブランド化は。今、幾つかの農産物についてブランド化をすすめているが、きちっとした形でまだ定着していない。もう少しじっくりと時間をかけ本場にブランドと言われれるものを町内に広げていく必要がある。

**答** 短い期間で次々と農産物をうち出していきやり方には、疑問を投げかけている。

**問** 加工設備・施設の整備等の考えについて。

**答** 1・2月にワーキング、講演の中で意識を高め、新年度には、どのような仕組み・加工場をつくっていくのかとの具体的な動きに入っていくと考えている。

**問** 加工設備・施設の整備等の考えについて。

**答** 1・2月にワーキング、講演の中で意識を高め、新年度には、どのような仕組み・加工場をつくっていくのかとの具体的な動きに入っていくと考えている。

**問** 完成には、新年度から3年ほどはかかるのではないかと思うが、そういう動きをつくっていきたく考えている。

**答** 完成には、新年度から3年ほどはかかるのではないかと思うが、そういう動きをつくっていきたく考えている。

## 一般質問



中西 頌治

## 一、グリーンツーリズム 二、入札改革

### グリーンツーリズム

**問** 能勢の交流人口は府民牧場、野外活動センター、能勢の郷の廃止、休業によって激減しているが、どのような対応施策を考えているか。

**答** またその減少を物産センター、浄るりシアターの企画で取り返せると考えているのか。

**問** 旧野外活動センター跡地などの観光資源を積極的に活用し交流人口を増やしていくような方法が必要ではないかと考える。

**答** 視点を変えて、町内に自然保全のために活動している各種団体を取りまとめる協議会などを持って、足並みを揃えて特定少数への支援を考えたい。

**答** そういふ方々にお集まりいただくような機会もぜひつくっていききたいと思う。

もぜひつくっていききたいと思う。



### 入札改革

**問** 一般競争入札においては、最低制限価格が現在、事前公表になっているが、事後公表にするべきではないか。また指名競争入札においては、最低制限価格の設定そのものが不要なのではないかと考えるが見解は。

**答** 国や大阪府は、最低制限価格を事後公表としていることは承知している。

最低制限価格の公表を事前とするか事後とするかは、談合情報もたらされたことを契機として事前公表に改めたという経過も踏まえ、他市町村の動向も勘案しながら引き続き検討する。

指名競争入札では、ダンプینگ受注が発生すれば工事の質の低下を招くだけではなく、下請企業や労働者へのしわ寄せ、安全管理の不徹底といったものを招き、建設業の健全な発展を阻害するものであることから、その防止のために最低制限価格制度は一定の役割を果たしているのではないかと認識する。本町においては、今後とも最低制限価格を設定していきたく考える。